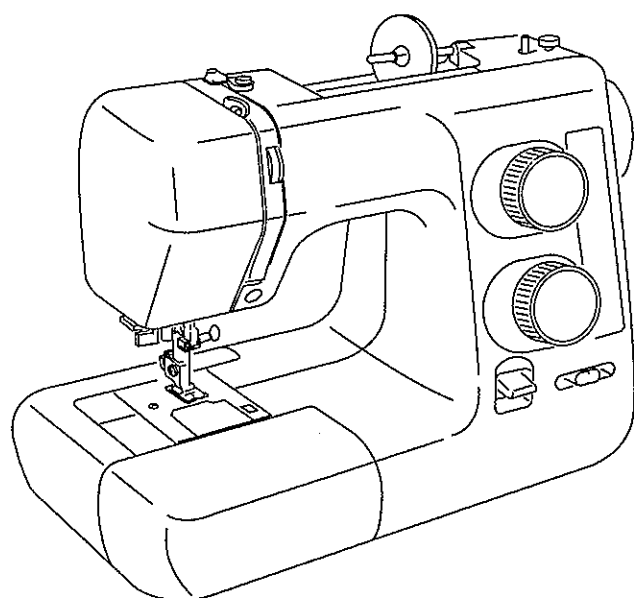


使い方の手びき

《取扱説明書》

D200



JANOME

安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 For use in Japan only.

危害・損害の程度を表わす表示

 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
--	---

本文中の図記号の意味

	△記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
	⊘記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

 警告 感電・火災の恐れがあります。	
 必ず実行 一般家庭用、交流電源 100V でご使用ください。	 必ずプラグを抜く 以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき 

 注意 感電・火災・けがの原因となります。	
 分解禁止 お客様自身での分解はしないでください。 	 必ず実行 針および押さえは、確実に固定してください。 また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。 針が押さえにあたり、けがの原因になります。
 接触禁止 ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はすみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。 	 必ず実行 以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。 ・押さえ、アタッチメントを交換するとき ・上糸、下糸をセットするとき
 禁止 ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。針が曲がり、針折れの原因になります。	 必ず実行 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずプラグを持って抜いてください。
 禁止 フットコントローラーの上に物をのせないでください。	 必ずプラグを抜く 以下のことをするときには、電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。 ・針、針板を交換するとき ・ランプを交換するとき(ランプが冷えてから行ってください。) ・ミシンのお手入れを行うとき
 禁止 プラグ受けに糸くずや、ほこりがたまらないようにしてください。	 必ずプラグを抜く ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 ・正常に作動しないとき ・水に濡れたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき
 禁止 付属の電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。 このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。	
 注意 お子様がお使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。 	
 必ず実行 ミシン操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。	

目 次

おとり扱いについてのお願い	2	●ジグザグぬいとかがりぬい	16
●各部の名まえ	3	★ジグザグぬい	16
●補助テーブル	4	★ジグザグぬいたち目かがり	16
★補助テーブルのはずし方	4	★かがりぬい	16
●標準付属品	4	●くけぬい(まつりぬい)	17

操作をおぼえましょう

●電源のつなぎ方	5	●三重ぬい	17
★スタート・ストップボタンを 使用する場合	5	●ボタンホール	18
★フットコントローラーを 使用する場合	5	●芯入りボタンホール	18
●速さの調節のし方	6	●ファスナーつけ	19・20
●スタート・ストップボタン	6		
●返しぬいスタート	6		
●押さえ上げ	7		
●押さえのとりかえ方	7		
●糸調子の合わせ方	8		
●模様選択ダイヤル	9		
●送りダイヤル	9		
(ぬい目あらし調節)			
●下糸の準備をしましょう	10		
★ボビンをとり出します	10		
★糸こまをとりつけます	10		
★ボビンに糸を巻きます	10・11		
★ボビンを内がまにセットします	11		
●上糸の準備をしましょう	12		
★上糸を掛けます	12		
●糸通しの使い方	13		
●下糸を引きあげるには	14		
●布に適した糸や針を選ぶ目安	14		

応用ぬいいろいろ

●キルティング	21
●ピンタック	21
●スモッキング	21
●シェルタック	22
●アップリケ	22
●スーパー模様ぬい	22

押さえホルダーのはずし方・つけ方	23
針のとりかえ方	23
フットコントローラーの収納	24
ランプの交換	24

ミシンのお手入れと調整

●ミシンのお手入れ	25
★かまの掃除	25
★かまの分解	25
★かまと送り歯の掃除	25
★かまの組立て	25
●ミシンの調子が悪いときの直し方	26

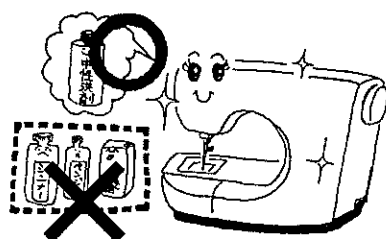
実用ぬいいろいろ

●直線ぬい	15	別売品のご紹介	27・28
★ぬいはじめ	15		
★厚手の布端のぬいはじめ	15		
★ぬい方向をかえるには	15		
★ぬいおわりと糸の切り方	15		
★針板ガイドラインの利用	15		

おとり扱いについてのお願い

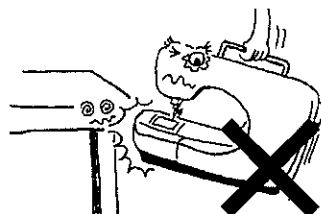
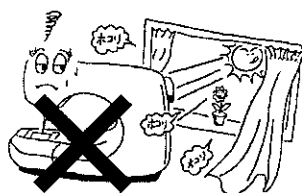
◇ご使用の前に

- ① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。



◇いつまでもご愛用いただくために

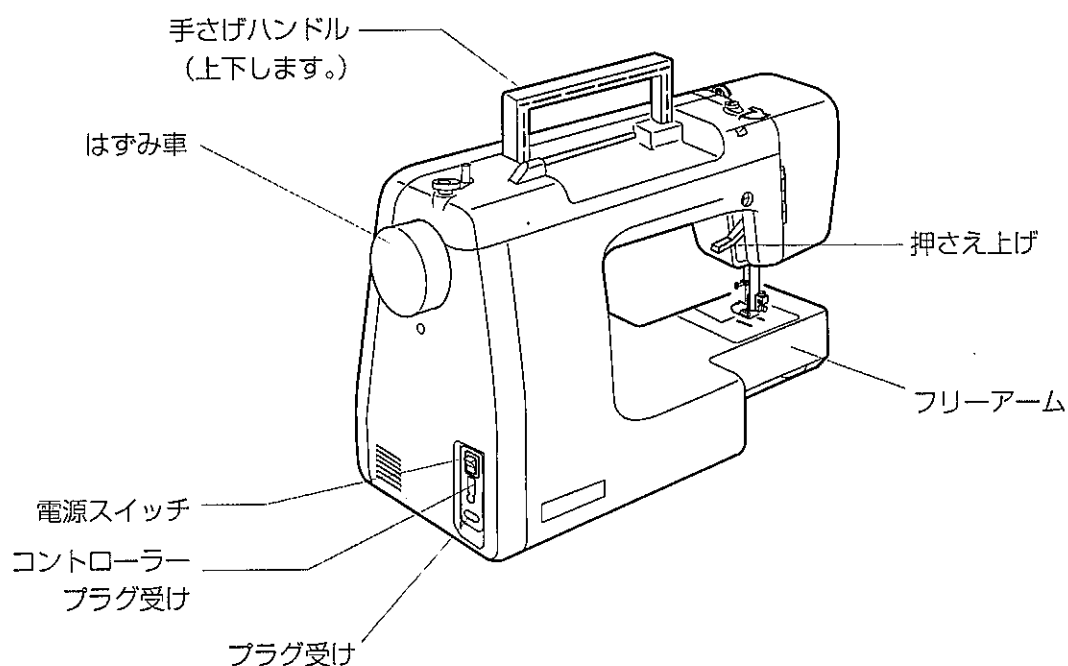
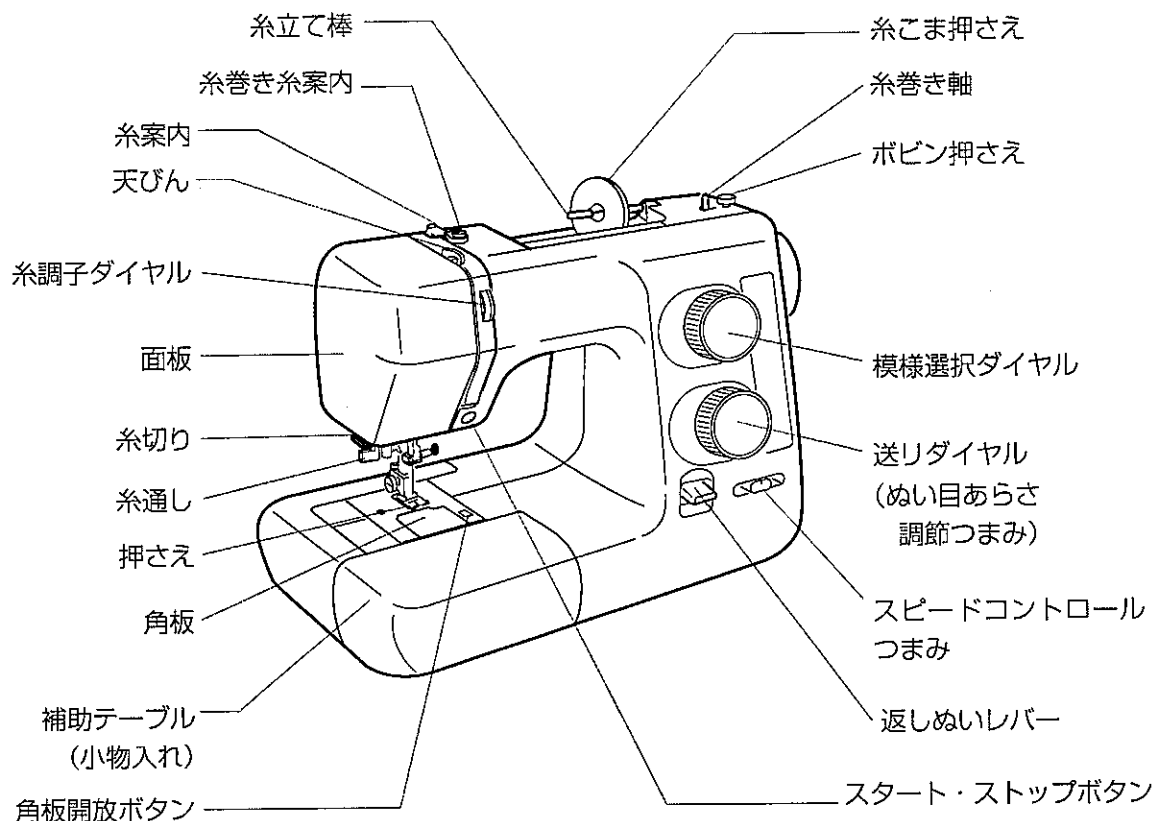
- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ③ 落したり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。



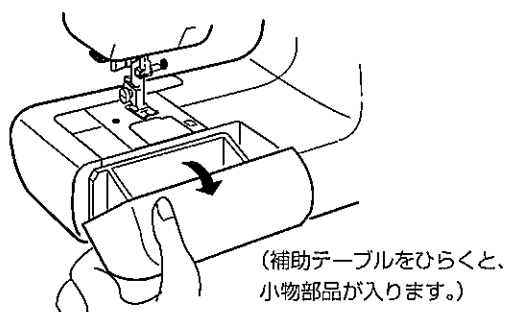
◇ 修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(26 ページ)により点検・調整を行ってください。

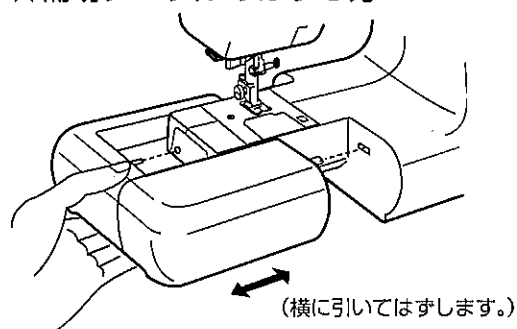
●各部の名まえ



●補助テーブル

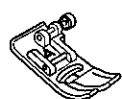


★補助テーブルのはずし方

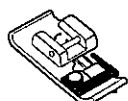


●標準付属品

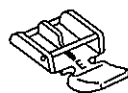
(押さえには、記号を表示してあります。)



A 基本押さえ



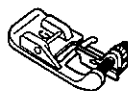
C たち目かがり押さえ



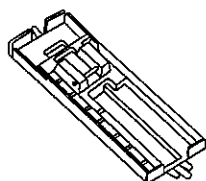
E ファスナー押さえ



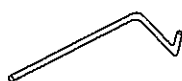
F サテン押さえ



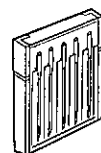
G くけぬい押さえ



J ボタンホール押さえ



キルター
(定規棒)



針と針ケース



ドライバー



ボビン



シームリッパー



ミシンブラシ



糸こま押さえ (小)



糸こま押さえ (大)

※糸こま押さえ (大) はミシンの糸立て棒についています。

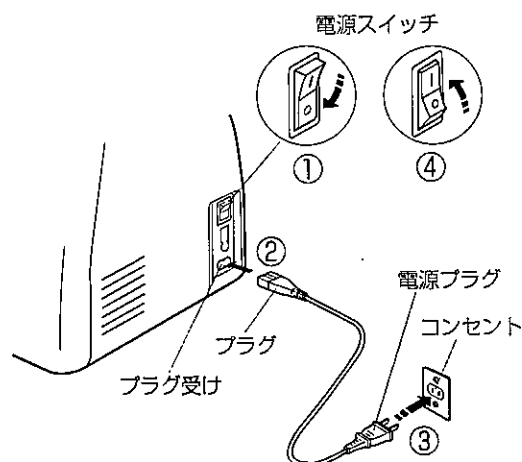
操作をおぼえましょう

⚠ 警告

- ・ 電源は、一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。
- ・ ミシンを使わないときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
感電、火災の原因になります。
- ・ 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
ほこりなどが付着していると湿気などにより絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源のつなぎ方

★スタート・ストップボタンを使用する場合

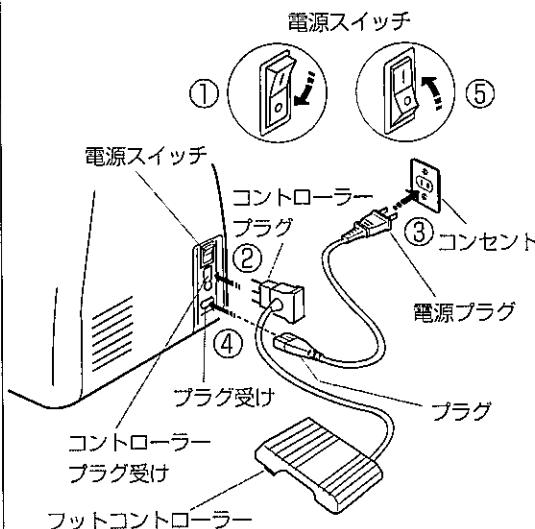


※電源スイッチの「I」印は「入」、○印は「切」です。

- ①電源スイッチを「切」にします。
- ②プラグをプラグ受けにさしこみます。
- ③電源プラグをコンセントにさしこみます。
- ④電源スイッチを「入」にします。

★フットコントローラーを使用する場合

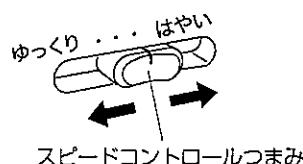
※フットコントローラーはモデルにより別売りになります。



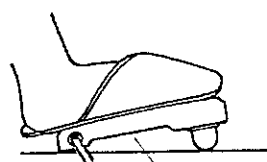
- ①電源スイッチを「切」にします。
- ②コントローラープラグをコントローラープラグ受けにさしこみます。
- ③電源プラグをコンセントにさしこみます。
- ④プラグをプラグ受けにさしこみます。
- ⑤電源スイッチを「入」にします。

※フットコントローラーを接続したときは、スタート・ストップボタンは使えません。
※フットコントローラーの上に物を乗せないでください。
けがや故障の原因になります。

●速さの調節の仕方



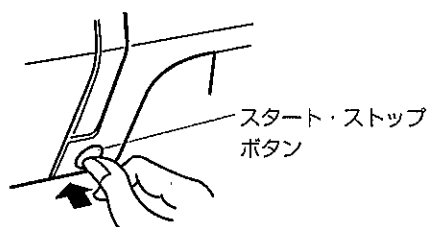
ぬう速さは、自由にセットできますので、好みの速さに、スピードコントロールつまみをセットしてください。



フットコントローラーは、深く踏み込むほど速くなります。

※スピードコントロールつまみは「はやい」にセットしてください。

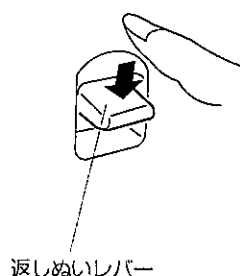
●スタート・ストップボタン



ボタンを押すと、ミシンは数針ゆっくりとぬってからスピードコントロールつまみでセットした速さでぬいはじめます。もう一度押すと、針が上の位置で止ります。

※下糸を巻くときは、ミシンはゆっくりスタートにならずにセットした速さで動きはじめます。

●返しぬいスタート



ミシンが動いていない状態で返しぬいレバーを押すと、低速で返しぬいをはじめます。

【ぬいはじめの返しぬい】

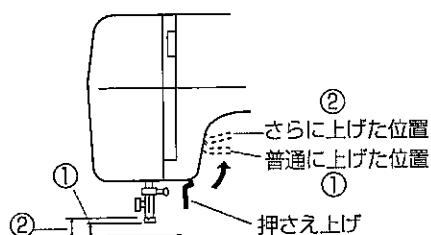
返しぬいレバーを押すと、ミシンは低速で返しぬいをはじめ、指をはなすと止まります。

【運転中の返しぬい】

返しぬいレバーを押すと、押している間は返しぬいをし、指をはなすと前進ぬいに戻ります。

※不用意に返しぬいレバーにふれると、ミシンが動きだしますので注意してください。

●押さえ上げ

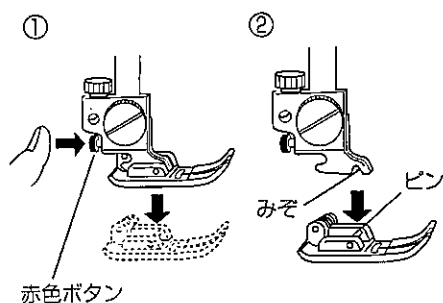


押さえ上げで、押さえの あげさをします。
ぬいのはきは、押さえ上げをさげます。
押さえ上げを普通にあげた位置より、さらに高く
あげると、押さえはさらにあがり厚い布が入れや
すくなります。

●押さえのとりかえ方

⚠ 注意

押さえをとりかえるときは、必ず電源スイッチを切ってください。
けがの原因になります。



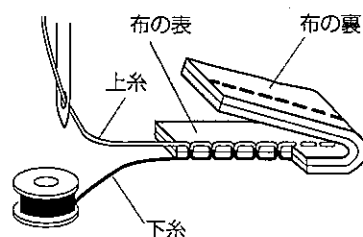
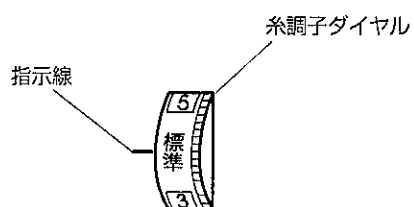
①押さえ上げをあげて、赤色ボタンを押して、押さえ
をはずします。

②押さえのピンを押さえホルダーのみぞに合わせて押
さえ上げを静かにおろします。

●糸調子の合わせ方

素材やぬい方によって、糸調子ダイヤルをまわして調整します。

糸調子が正しく調整されていないと、ぬい目がきたなくなり布にしわがよったり、糸が切れたりします。



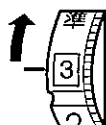
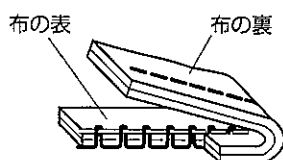
〈バランスのとれた糸調子〉

○直線ぬいのはきは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。

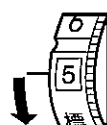
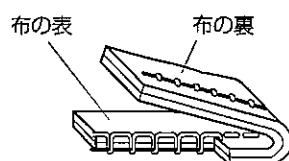
○ジグザクぬいのはきは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

○上糸が強すぎるとき・・・小さな目盛りに合わせます。

○上糸が弱すぎるとき・・・大きな目盛りに合わせます。

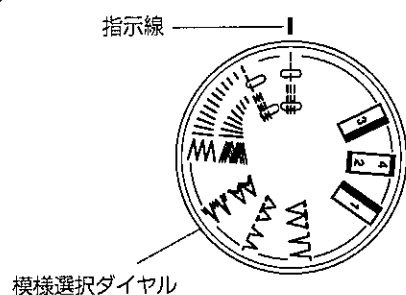


※下糸が布の表に出ます。



※上糸が布の裏に出ます。

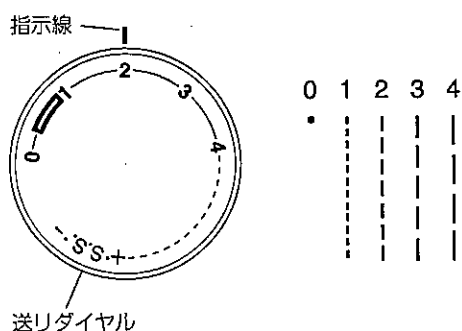
●模様選択ダイヤル



模様選択ダイヤルをまわし、選んだ模様を指示線に合わせます。

※針が布にささったままで模様選択ダイヤルをまわすと針がまがったり、折れたりする原因になります。

●送りダイヤル (ぬい目あらし調節)

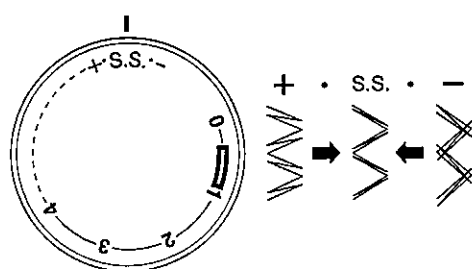


送りダイヤルをまわして、目盛りを指示線に合わせます。

目盛りが大きくなるとぬい目はあらかくなります。

模様選択ダイヤルを () または、() に合わせ、送りダイヤルをまわすと、ぬい目あらしは、左図のように変化します。

※ は、ボタンホールのぬい目あらしの調節範囲をしめします。



送りダイヤルをS.S.に合わせると、模様選択ダイヤルで選んだ模様は、スーパー模様になります。

★スーパー模様の形の整え方

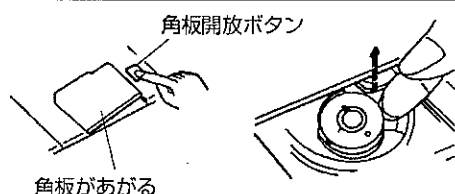
模様の形が整わないとき、伸びている場合は、「-」方向に、つまっている場合は「+」方向に送りダイヤルをまわして調整します。

模様を選ぶとき、模様選択ダイヤルと送りダイヤルは、下表を目安にセットしましょう。

模 様							
送りダイヤル		1.5~4	0.5~4	1~3	2~3		
模 様							
送りダイヤル		S. S.					

●下糸の準備をしましょう

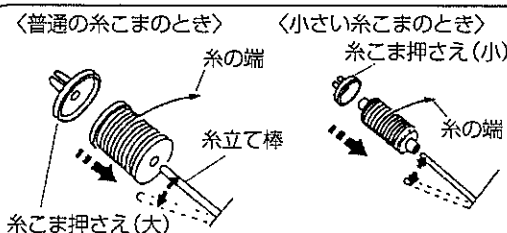
★ボビンをとり出します



角板開放ボタンを右へずらして角板をはずしボビンを取り出します。

※ボビンは、必ず専用ボビンをご使用ください。
他の製品を使うと、ぬい不良、または故障の原因になります。

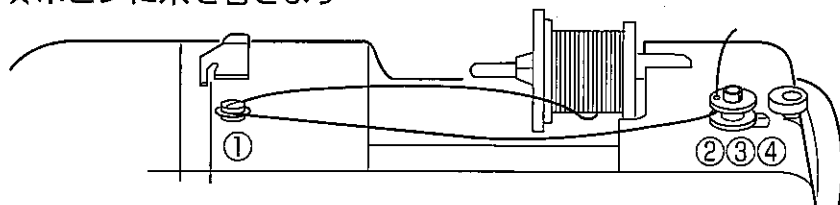
★糸こまをとりつけます



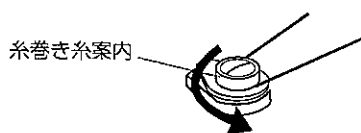
糸立て棒を軽くおこし、糸の端が向こう側に出るようにして、糸こまを入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

※小さい糸こまのときには、糸こま押さえ(小)を使用します。

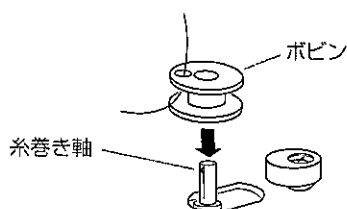
★ボビンに糸を巻きます



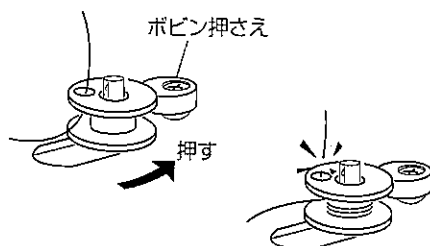
※糸巻き時は、スピードコントロールつまみを「はやい」の位置にセットしてご使用ください。



①糸巻き糸案内に糸を掛けます。

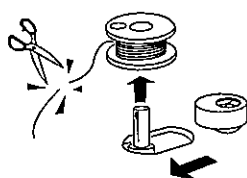


②ボビンの穴に糸を通し、糸巻き軸にさしこみます。



③ボビンを、ボビン押さえの方に押しつけ糸の端をつまんだまま、巻きはじめます。糸がボビンに3重ぐらい巻きついたら、ミシンを止めて穴のきわで糸を切ります。

※糸巻き軸は、必ずミシンを止めてから動かしてください。

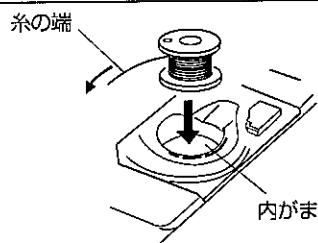


- ④再びミシンを動かし巻きおわったら、ミシンを止めて、ボビンをもとに戻し、糸巻き軸よりはらずして糸を切ります。

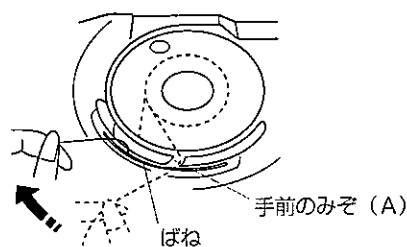
★ボビンを内がまにセットします

⚠ 注意

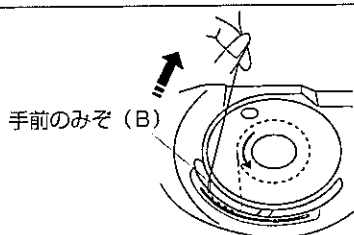
ボビンを内がまにセットするときは、必ず電源スイッチを切ってください。
けがの原因になります。



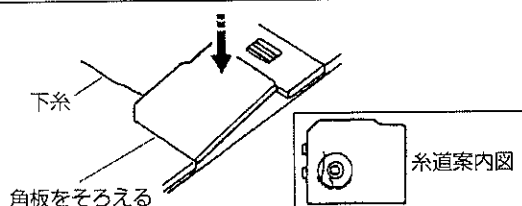
- ①角板をはずし、糸の端を矢印方向に出して、ボビンを内がまに入れます。



- ②糸の端を引きながら手前のみぞ (A) にかけて、さらに糸を引いて、みぞの外側とばねの間を通します。



- ③糸を手前のみぞ (B) にかけるようにして向こう側に出します。
※糸を引き出したとき、ボビンは反時計方向に回転します。時計方向に回転した場合、ボビンの向きを上下逆に入れかえます。



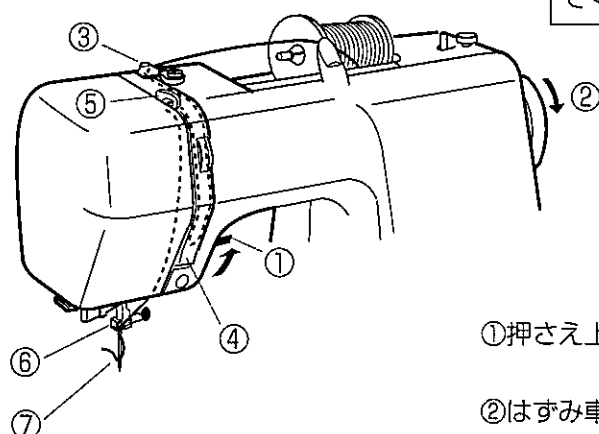
- ④下糸を 10cm くらい引き出して、角板をつけます。

●上糸の準備をしましょう

★上糸を掛けます

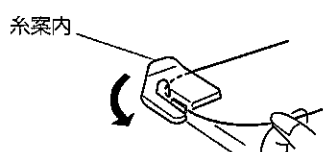
⚠ 注意

上糸を掛けるときは、必ず電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。

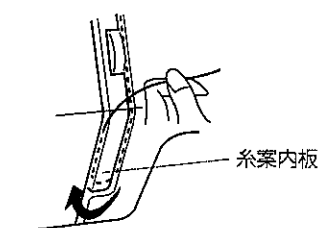


①押さえ上げをあげます。

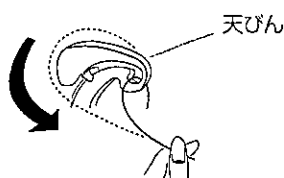
②はずみ車を手前にまわし、天びんを上部にします。



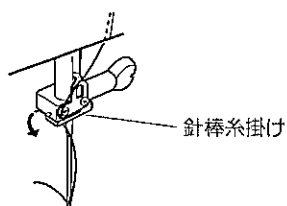
③糸こまから糸を引き出し右手で糸こまを押さえ、左手で糸を持ち糸案内の向こう側から糸案内板の右側にそって下におろします。



④糸案内板の下をまわして、右から左に掛け、上に引きあげます。



⑤天びんへは、右から後ろをまわして左へ出し、手前に引き出して、まっすぐ下におろします。



⑥針棒糸掛けに左から掛けます。

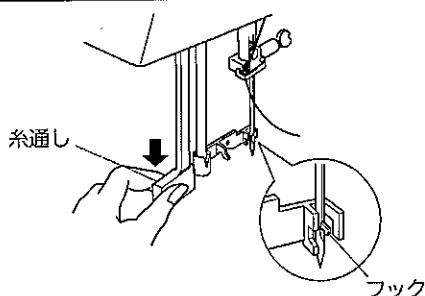
⑦糸通しを使って針に糸を通します。
(糸通しの使い方は、13ページをごらんください。)

●糸通しの使い方

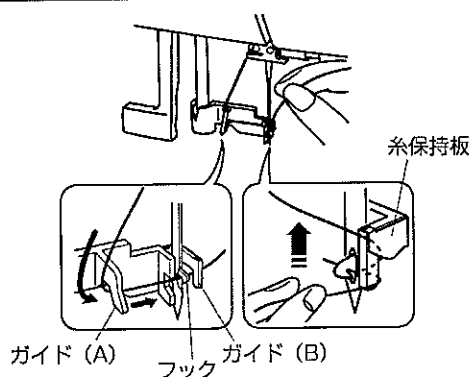
⚠ 注意

糸通しを使うときには、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

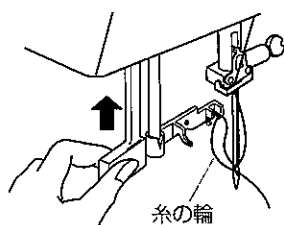
けがの原因になります。



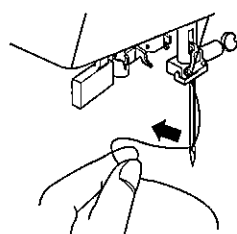
- ① 押さえ上げをさげ、針をあげます。
糸通しを止まるまで引き上げます。
糸通しが止まった位置で、フックが針穴に入ります。



- ② 糸を左側からガイド (A) とガイド (B) にかけてます。
※ 糸がフックの下を通っていることを確認します。
- ③ 糸をガイド (B) の右から手前にまわして、そのままガイド (B) の側面にそって上に引きあげ、糸保持板にはさみ込みます。



- ④ 糸通しを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。



- ⑤ 糸の輪を糸通しから外し、糸の輪を向こう側に出しながら、針穴から糸の端を引き出します。

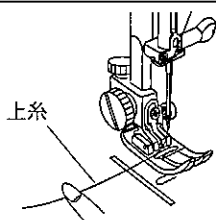
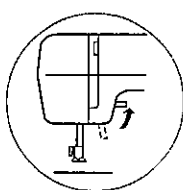


針は、11～16番、およびジャノメブルー針が使えます。

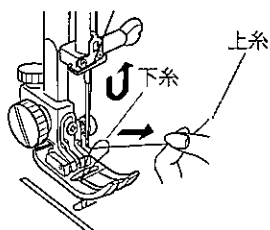
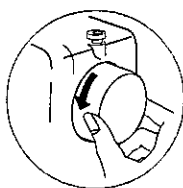


糸は50～90番が使えます。

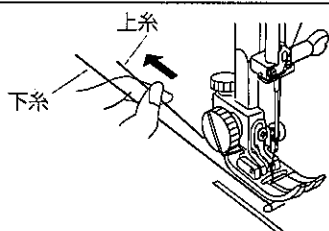
●下糸を引きあげるには



①押さえ上げをあげ、糸の端を指で押さえておきます。



②はずみ車を手前にまわし、針をいったんさげてから再びあげます。上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。



③上糸・下糸を押さえの下にして後ろへそろえて出します。

●布に適した糸や針を選ぶ目安

布		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90番	9番～11番
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール地	絹糸 50番 綿糸 60番 ポリエステル、ナイロン 50～90番	11番～14番
		綿糸 50番	14番
厚い布	デニム ツイード コート地	絹糸 50番 綿糸 40番～50番 ポリエステル 40番～50番	14番～16番
		ポリエステル 30番 綿糸 30番	16番

※一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に、針と糸を選び、試しぬいをして確かめてください。

※原則として、上糸と下糸は、同じものを使用してください。

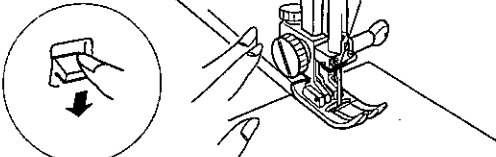
※伸縮性のある布（ジャージー、トリコット）や目とびしやすい布地などには、ジャンメブルー針を使用すると防止効果があります。（市販SP針も同様の防止効果があります。）

実用ぬいいろいろ

●直線ぬい

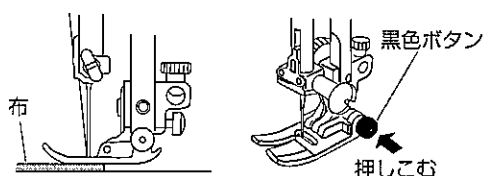
縫いの種類	模 様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	
	または	A基本押さえ	1.5～4	2～6	

★ぬいはじめ



糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手前にまわして、ぬいはじめの位置に針をさします。押さえ上げをさげて、ゆっくりぬいはじめます。
※ぬいはじめのほつれ止めは、返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをします。

★厚手の布端のぬいはじめ



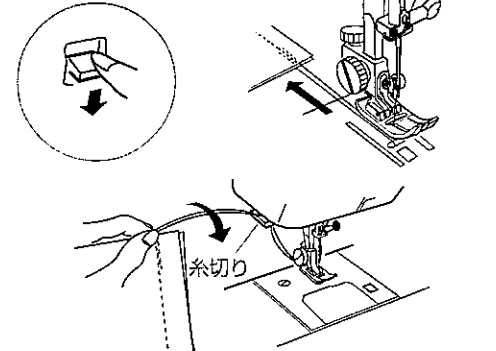
①ぬいはじめの位置に針をさし、基本押さえの黒色ボタンを押こみます。
②ボタンを押したままで押さえ上げをさげます。
③ボタンから手をはなし、ぬいはじめます。

★ぬい方向をかえるには



ミシンを止め、針を布にさしたままで押さえ上げをあげ、布をまわしてぬい方向をかえます。

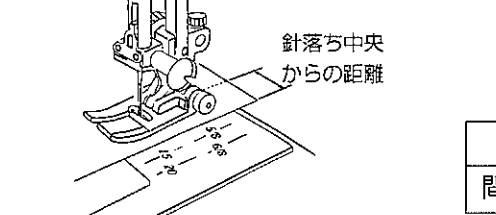
★ぬいおわりと糸の切り方



返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをします。押さえ上げをあげて、布を向こう側に静かに引き出します。

糸切りで糸を切ります。

★針板ガイドラインの利用



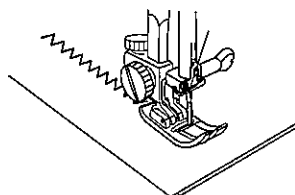
布端を角板及び針板のガイドラインに合わせてぬいます。
※数字は、針落ち中央からの距離です。

数 字	1 5	2 0	4 / 8	5 / 8	6 / 8
間かく(cm)	1 . 5	2 . 0	1 . 3	1 . 6	1 . 9

●ジグザグぬいとかがりぬい

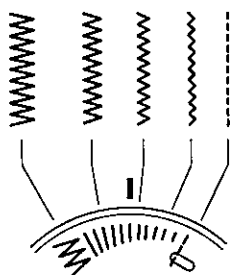
押さえる	模 様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	※たち目のほつれ止めとして広く利用します。
		A基本押さえ または Cたち目かがり押さえ	ジグザグぬい…0.5~4 かがりぬい… 1~2	2~5 標準~7	

★ジグザグぬい

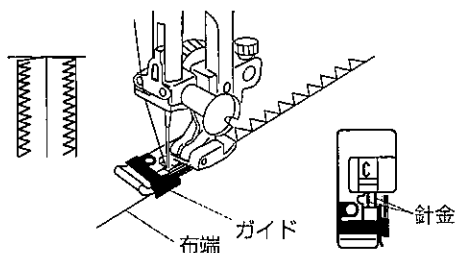


伸縮性のある布（ニット、ジャージー、トリコットなど）には接着芯を貼るとききれいにぬえます。

★ジグザグぬいたち目かがり



送りダイヤルを「1」に合わせて、模様選択ダイヤルを  間でかえると、ぬい目の幅（ジグザグ）は、図のように変化します。
布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬいます。



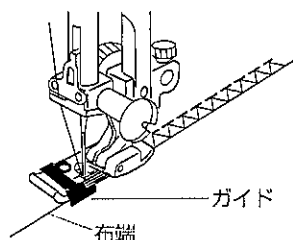
⚠ 注意

たち目かがり押さえを使用するときは、ぬい目の幅は最大にします。ぬい目の幅が小さいと針が針金にあたり、けがの原因になります。

布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬいます。

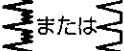
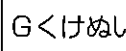
★かがりぬい

押さえる	模 様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	
		Cたち目かがり押さえ	S. S.	3~7	



布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬいます。
ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止めに利用します。

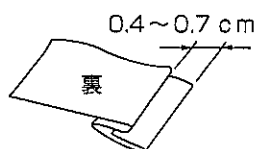
●くけぬい（まつりぬい）

セッティング	模様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	
	 または 	Gくけぬい押さえ	1～3	1～標準	※スカートやワンピースなどの裾のまつりが簡単にできます。

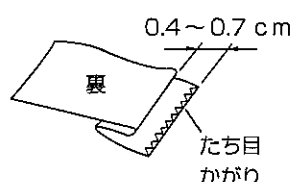
※模様  は、伸縮性のある布に使用します。

★（布の折り方）

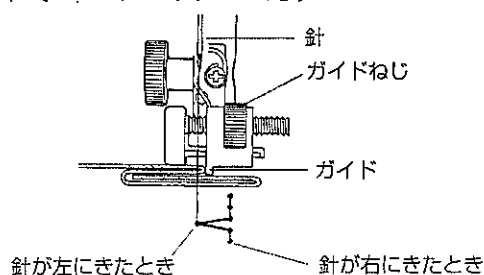
（うすい布、普通の布の場合）



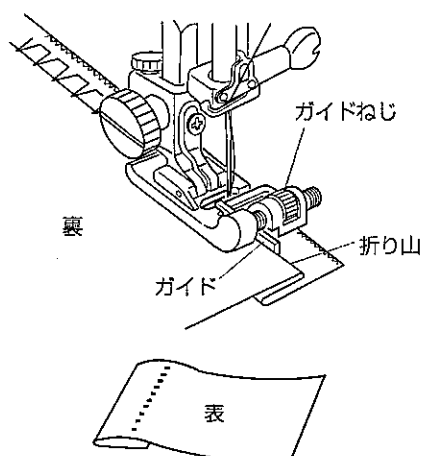
（厚い布の場合）



★（ガイドの合わせ方）



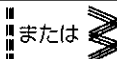
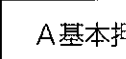
★（ぬい方）



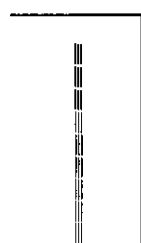
- ①針が左にきたとき、わずかに折り山をさすように布を置いて押さえ上げをさげます。
- ②ガイドねじをまわして、ガイドを折り山に合わせ、針が折り山からはずれないようにぬいます。
- ③ぬい終わったら布をひろげます。

※左側におりる針が必要以上にかかりすぎると、表にでるぬい目が大きくなり、きれいに仕上がりにませんので注意してください。

●三重ぬい

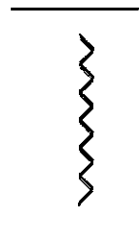
セッティング	模様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	
	 または 	A基本押さえ	S. S.	2～6	

★直線三重ぬい



丈夫なぬい目なので、補強ぬいとして、袋物やズボンの股上ぬいなどに便利です。

★ジグザグ三重ぬい

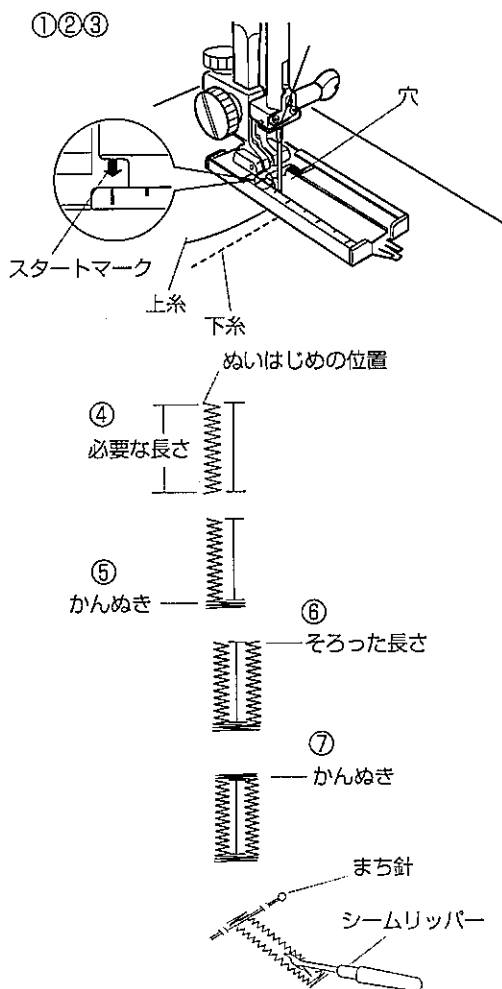


飾りぬいに使います。

※布が前後するのでぬい目がまがらないように注意してぬいます。

●ボタンホール

セリット スリット	模様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	※送りダイヤル (0.3)
		J ボタンホール押さえ	0.3 ~ 1 (の範囲)	1 ~ 標準	・細かいぬい目 (薄布用) 送りダイヤル (1) ・あらいぬい目 (厚布用)

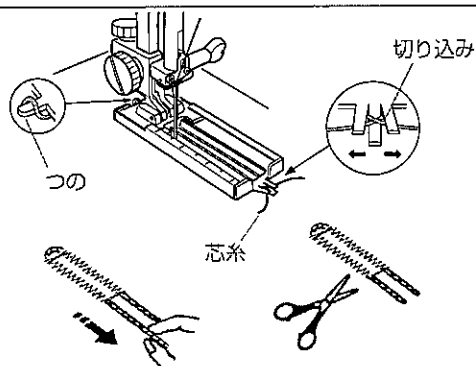


※必ず試しぬいをして、正しくぬえることを確認しましょう。
※伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地を貼ります。

【ぬい方】

- ①模様 を選びます。
- ②針と押さえ上げをあげてJ押さえを取りつけます。
- ③上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
押さえを手前いっぱいまで引き出してスタートマークを合わせます。
- ④ぬいはじめの位置に針をさして、押さえをおろし、ミシンをスタートさせます。必要な長さだけぬい、ミシンを止めます。
- ⑤模様 を選び、かんぬきを5針くらいぬい、ミシンを止めます。
- ⑥模様 を選び、左側と同じ長さまでぬい、ミシンを止めます。
- ⑦模様 を選び、かんぬきを5針くらいぬいます。
- ⑧押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸・下糸を10cmくらい残して切ります。下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。
- ⑨かんぬきの内側にまち針をさし渡して、シームリッパーでかがった糸を切らないように切りひらきます。

●芯入りボタンホール

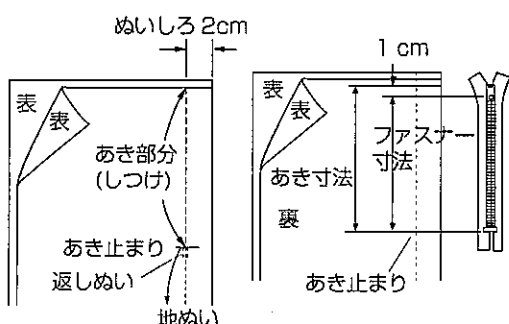


※芯糸を入れてぬうと丈夫なボタンホールができます。
※芯糸にはレース糸や太い糸などを使用します。

- ①つのに掛けた芯糸を、押さえの下に通して、前側の切り込みに、はさみます。
- ②ぬいはじめの位置に針をさし、押さえをさげてぬいます。
※ぬい方はボタンホールぬい手順と同じです。
- ③芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

●ファスナーつけ

セッティング	模様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	※スカート、スラックス、ワンピースなどのあきの始末に用います。
		Eファスナー押さえ	1.5～4	標準～6	



〈準備〉例：左脇あきのぬい方

①ファスナーのあき寸法を確かめます。

あき寸法は、ファスナー寸法に1cmプラスした寸法です。

②しつけと地ぬいをします。

布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。

地ぬいの部分は、A基本押さえを使ってぬいます。あき部分は、送りダイヤル「4」でしつけぬいをします。

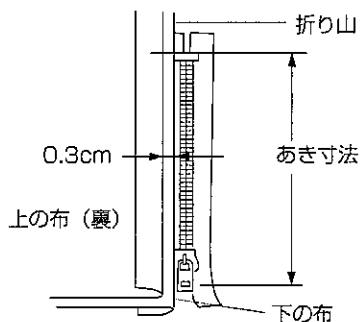
※しつけは、ほどこしやすいように糸調子ダイヤルを「1」くらいにしてぬいます。しつけがおわたったら、糸調子ダイヤルを「標準」に戻します。



〈ファスナー押さえのつけ方〉

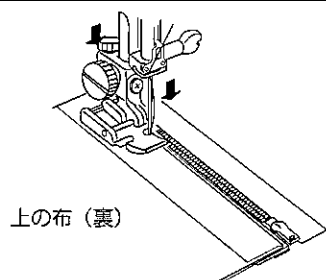
○左側をぬうときは、押さえホルダーのみぞにピンを合わせて右側にセットします。

○右側をぬうときは、押さえホルダーのみぞにピンを合わせて左側にセットします。



〈ぬい方〉

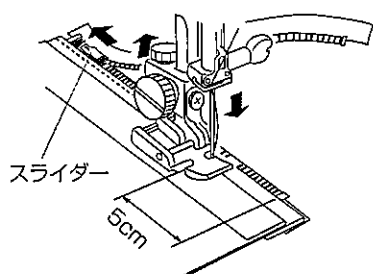
①ぬいしろをわり、下の布のぬいしろを0.3cm出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。



②押さえホルダーをファスナー押さえの右側にセットします。

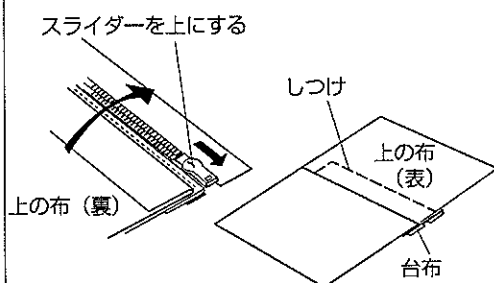
③押さえの端にむしのきわを当てて、あき止まりからぬいます。

※ぬいはじめのほつれ止めは、数針返しぬいをします。



- ④ファスナーの端から5cm位手前でミシンを止め、針を布にさします。押さえ上げをあげてスライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえ上げをさげて端までぬいます。

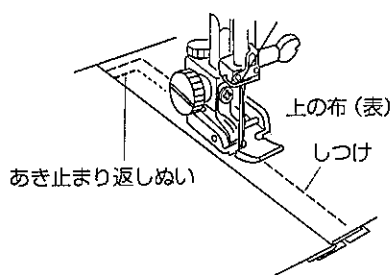
※ぬい終わりのほつれ止めは、数針返しぬいをします。



- ⑤スライダーを上を引きあげて、つまみの金具を上を倒し、上の布をファスナーの上にかぶせます。かぶせた布と台布をしつけで止めます。

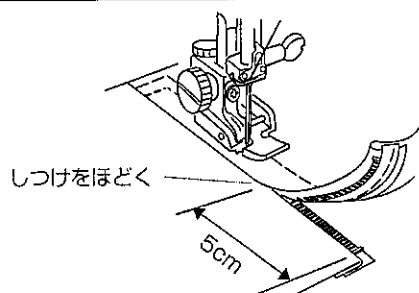
※しつけは、A 基本押さえを使用します。

しつけはほどこしやすいように、送りダイヤルを「1」にしてぬいます。しつけがおわったら糸調子ダイヤルを「標準」に戻します。

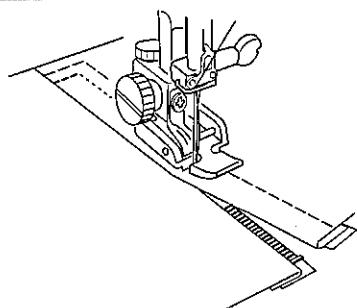


- ⑥押さえホルダーをファスナー押さえの左側にセットします。

- ⑦上の布のあき止まりを返しぬいして、押さえの端にスライダーのきわを当ててぬいます。



- ⑧ファスナーの上側を5cmくらい残したところで止めて、はずみ車を手前にまわし針をさげます。針を布にさしたままで押さえ上げをあげて、〈準備〉の手順②でぬった、しつけ糸をほどきます。



- ⑨スライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえ上げをさげて残りの部分をぬいます。ぬい終わったら、手順⑤でぬった、しつけ糸をほどきます。

応用ぬいいろいろ

●キルティング

模 様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	※ぬい目を平行にぬって いく方法で、袋物など の装飾に利用します。
または	A基本押さえ +キルター	1.5～4	3～6	

キルター止めねじをゆるめて、キルター（定規棒）をとりつけ穴に入れ、止めねじをしめます。

キルターは、前にぬったぬい目をたどるのに使います。

●ピンタック

模 様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	※ブラウスの前身頃などの 装飾に利用します。
または	Gくけぬい押さえ	1.5～3	2～6	

0.1～0.2 cm

①はすみ車を手前にまわして、針が折り山より0.1～0.2cm 内側におりるように布を置いて、押さえ上げをさげます。

②ガイドねじをまわして、ガイドを折り山に合わせ、ぬいます。

●スモッキング

模 様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	
または	A基本押さえ	S. S.	標準～6	

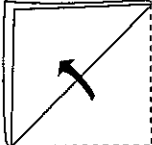
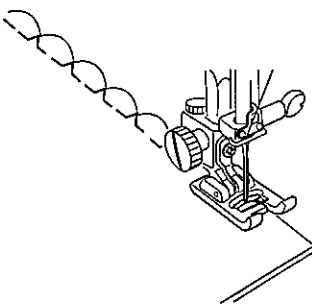
①糸調子ダイヤルを1～3にして、ぬい目のあらかさ0.3～0.4cmの直線ぬいを1cm間かくで数本ぬいます。
※ぬいおったら糸調子ダイヤルを「標準」に戻します。

②上糸と下糸を布の片側で結び、反対側から下糸を引いて、ひだをよせ、上糸と下糸を結びます。

③直線ぬいの糸と糸の間に模様ぬいをしてから、直線ぬいの糸を抜きとります。

●シェルタック

アイロン	模 様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	※糸調子は、試しぬいをして、シェルタックの山がきれいに 出るように調整します。
		Fサテン押さえ	2～3	6～8	

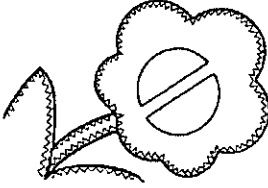



①うす手の布をバイヤスに2つ折りにし、右側を輪にして押さえの下におきます。はずみ車を手前にまわして針が右にきたとき、布端ぎりぎりの外側におりるようにしてぬいます。

②布を開いて、タックされた山をアイロンで片側にたおします。

●アップリケ

アイロン	模 様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル	※アップリケ布は糊づけするか、しつけで止めます。また、両面接着芯を使うと便利です。
		Fサテン押さえ	0.5～1	1～標準	

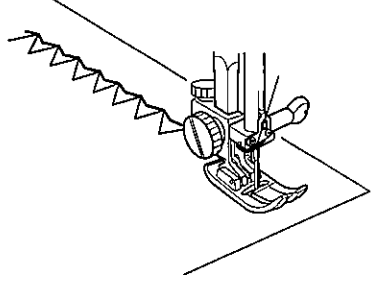


アップリケ布が針の左にくるようにして、ふちをぬいます。

※カーブのところや、方向転換をするところでは、はずみ車を手前にまわして、針を下位置にしたままでかえると、きれいに仕上がります。

●スーパー模様ぬい

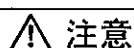
アイロン	模 様	押さえ	送りダイヤル	糸調子ダイヤル
	     	A 基本押さえ	S. S.	1～標準



布が前後するので、ぬい目がまがらないように注意してぬいます。

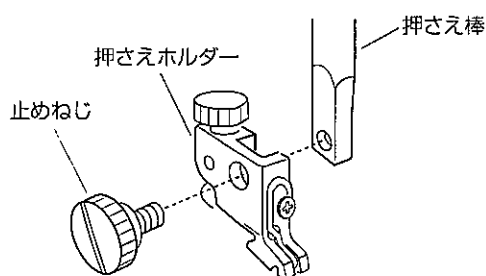
※目のとびやすい伸縮性の布や、目のつんだ布には、ブルー針を使用すると効果があります。

押さえホルダーのはずし方・つけ方



注意

押さえホルダーのとりはずし、とりつけをするときは、電源スイッチを切ってから行ってください。
けがの原因になります。



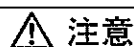
【はずし方】

押さえ上げをあげ、押さえをはずし、止めねじを左にまわして押さえホルダーをはずします。

【つけ方】

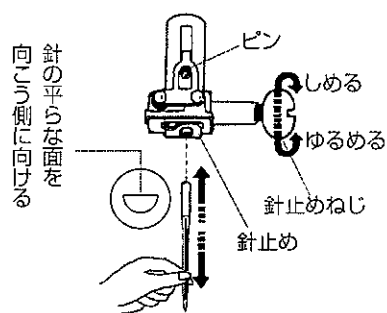
押さえホルダーの穴と、押さえ棒のねじ穴を合わせ止めねじをさしこみ、右にまわしてしっかりつけます。

針のとりかえ方



注意

針の取りかえは、必ず電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
けがの原因になります。



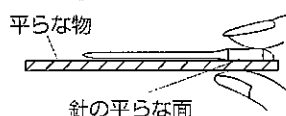
【はずし方】

針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針をはずします。

【つけ方】

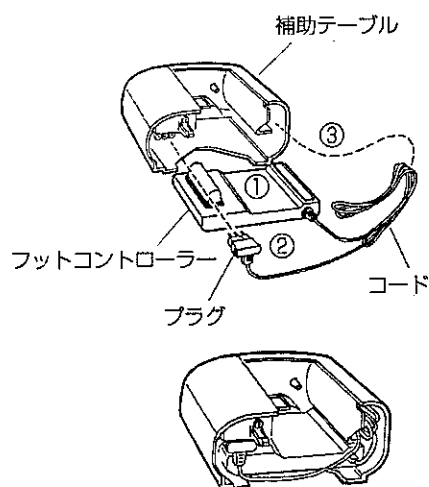
針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで針止めにさしこんで、針止めねじをかたくしめます。

【針の調べ方】



針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すき間が針先まで均等に見えるのが良い針です。針先がまがったり、つぶれているものは使わないようにします。

フットコントローラー（オプション）の収納



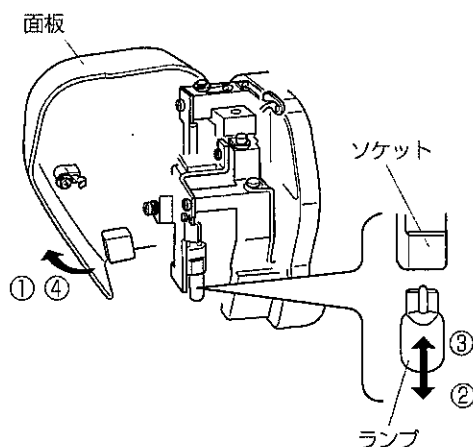
- ①フットコントローラーを補助テーブルに押しながらいれます。
- ②プラグを補助テーブルの穴にさしこみます。
- ③コードを4つ折りにして、補助テーブルに収納します。

ランプの交換

⚠ 注意

ランプを交換するときは、必ず電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ランプは冷えてからはずしてください。

感電、やけどの原因になります。



- ①面板を開けます。
- ②ランプをそっと引き抜きます。
- ③ランプをソケットの穴にあわせながらさしこみます。
- ④面板をしめます。

※ランプの購入は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
ランプ品番は、000026002(12V、5W)です。
定格の異なるランプは、とりつけないでください。

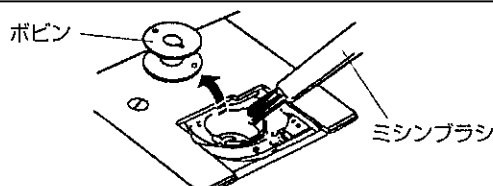
ミシンのお手入れと調整

●ミシンのお手入れ ※針と押さえホルダーは、とりはずしてお手入れをしてください。

⚠ 注意

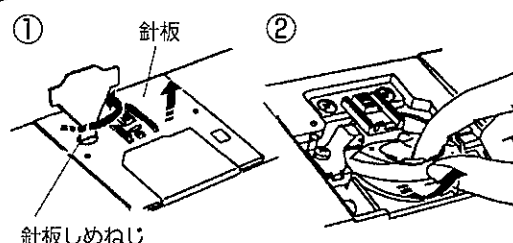
ミシンのお手入れをするときは、必ず電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、お手入れのときには、説明されている箇所以外は分解しないでください。けが、感電の原因になります。

★かまの掃除



①角板をはずし、ボビンを取り出して糸くずやほこりを、ミシンブラシで掃除します。

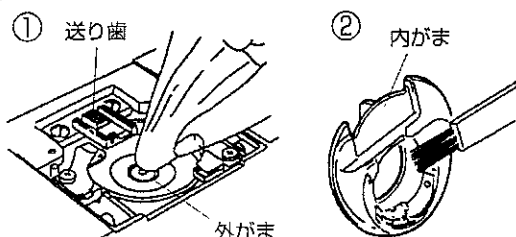
★かまの分解



①針板しめねじをはずし、針板をはずします。

②ボビンを取り出し、内がまの手前を上引きながら、はずします。

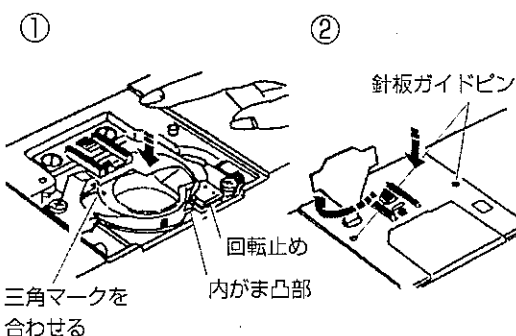
★かまと送り歯の掃除



①送り歯のごみを、ミシンブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除し、外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

②内がまを、ミシンブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。

★かまの組立て



①内がまをさしこみ三角マークを合わせて、内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。

②ボビンを入れ2か所の針板ガイドピンに針板の穴を合わせて、しめねじをしめます。

●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる	1. 上糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針がまがっていたり、針先がつぶれている。 4. 針のつけ方がまちがっている。 5. ぬいはじめに、上糸・下糸を押えの下にそろえて引いていない。 6. ぬい終わったとき、布を手前に引いている。 7. 針に対して、糸が太すぎるか、細すぎる。	12 ページ参照 8 ページ参照 23 ページ参照 23 ページ参照 15 ページ参照 15 ページ参照 14 ページ参照
下糸が切れる	1. 下糸の通し方が、まちがっている。 2. 内がまの中に、ごみがたまっている。 3. ボビンにきずがあり、回転がなめらかでない。	11 ページ参照 25 ページ参照 ボビンを交換する
針がおれる	1. 針のつけ方がまちがっているか、針がまがっている。 2. 針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3. ぬい終わったとき、布を手前に引いている。 4. 布に対して、針が細すぎる。	23 ページ参照 23 ページ参照 15 ページ参照 14 ページ参照
ぬい目とぶ	1. 針のつけかたがまちがっているか、針がまがっている。 2. 布に対して、針と糸が合っていない。 3. 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ブルー針（市販SP針）を使っていない。 4. 上糸の掛け方がまちがっている。 5. 品質の悪い針を使用している。	23 ページ参照 14 ページ参照 14 ページ参照 12 ページ参照 針を交換する
ぬい目がしわになる	1. 上糸調子が合っていない。 2. 上糸下糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。 3. 布に対して、針が太すぎる。 4. 布に対して、ぬい目があらずすぎる。	8 ページ参照 11、12 ページ参照 14 ページ参照 ぬい目を細かくする
布送りがうまくいかない	1. 送り歯に糸くすがたまっている。 2. ぬい目が細かすぎる。	25 ページ参照 ぬい目をあらくする
ぬい目に輪ができる	1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸に対して針が太すぎるか、細すぎる。	8 ページ参照 14 ページ参照
ミシンがまわらない	1. コンセントに、プラグがきちんとさしこまれていないか、つなぎ方がまちがっている。 2. かまに、糸やごみがたまっている。 3. 糸巻き軸が、下糸を巻いたあと、元に戻っていない。（糸巻状態になっている） 4. フットコントローラーを接続したままでスタート・ストップボタンを押している。	5 ページ参照 25 ページ参照 10、11 ページ参照 5 ページ参照
ボタンホールがうまくいかない	1. 布に対して、ぬい目のあらかさが合っていない。 2. 伸縮性のある布のとき、伸びない芯地を使っていない。	18 ページ参照 18 ページ参照
音が高い	1. かまの部分に、糸くすが巻きこまれている。 2. 送り歯に、ごみがたまっている。	25 ページ参照 25 ページ参照

別売品のご紹介

1. 直線押さえ (NO.823801015)

●直線ぬい

〈セットの目安〉

模様選択ダイヤル



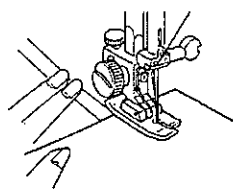
糸調子ダイヤル 2~6

ぬい目あかさ 1.5~4

押さえ



H直線押さえ



《ぬい方》

糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手前にまわして、ぬいはじめの位置に針をさします。押さえ上げをさげて、ゆっくりぬいはじめます。

2. 三つ巻き押さえ (NO.820809014)

●三つ巻きぬい

〈セットの目安〉

模様選択ダイヤル



糸調子ダイヤル 3~6

ぬい目あかさ 1.5~4

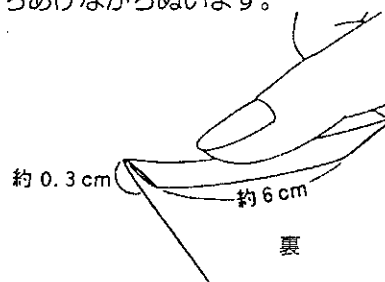
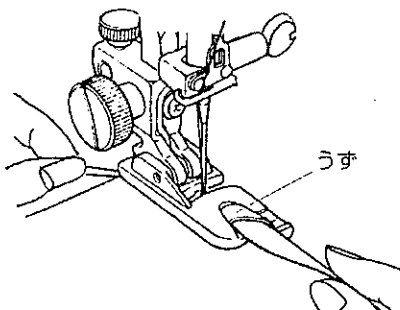
押さえ



D三つ巻き押さえ

《ぬい方》

- ①布端の長さ約 6 cm を、約 0.3cm の幅で 2 度折りまげます。
- ②ぬいはじめの部分に針をさし、押さえ上げをさげます。
- ③上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら、布端と押さえのガイドを合わせて 1~2cm ぬいませ。
- ④はずみ車をまわして針をさし、押さえをあげて折りまげた布の部分を押さえのうすの中に巻きこみます。
- ⑤押さえ上げをさげ、布端を立てて、引きぎみに持ちあげながらぬいます。

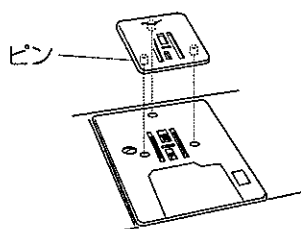


3. イーブンフット (NO.214870008)

押さえの使用法は、説明書が箱の中に同梱されています。

4. ダーニングプレート (NO.653801104)

●ダーニングプレートのつけ方



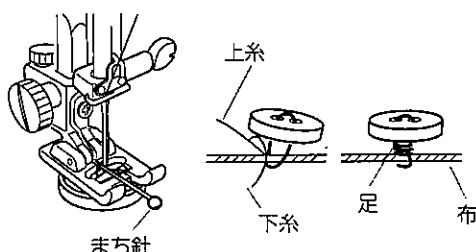
ダーニングプレートの裏についているピンを針板の穴におさめます。

ダーニングプレートは、ボタンつけや、ししゅうなどミシンが布を送らないようにするときに使います。

●ボタンつけ

〈セットの目安〉

模様選択ダイヤル ※ボタンの穴の幅に合わせる
糸調子ダイヤル 標準〜7
押さえ Fサテン押さえ



《ぬい方》

- ①はずみ車を手前にまわして、針が左にきたときボタンの左の穴におりるようにします。
- ②ボタンの左右の穴が真横にくるようにして押さえ上げをさげます。
- ③押さえの中央にまち針をのせ、はずみ車を手前にまわして針が左右の穴におりることを確かめます。10針くらいぬったら、上糸・下糸を20cmくらい残して切ります。

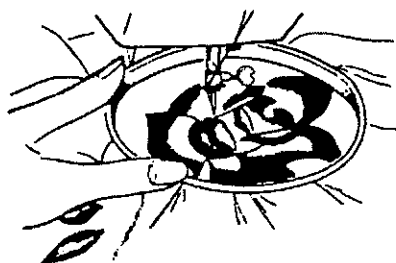
*ぬいはじめの上糸と下糸は、はさみで切り取ってください。

- ④上糸をボタンと布の間に引き出してから、上糸を強く引いて下糸をボタンと布の間に引き出し、上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に数回巻きつけて結びます。

●ししゅう

〈セットの目安〉

模様選択ダイヤル 中 または 下
糸調子ダイヤル 0〜標準
※押さえと押さえホルダーをはずします。
※送りダイヤルの操作は必要ありません。



《ぬい方》

- ①布をししゅう枠にピンと張ります。
※ししゅう枠は、標準付属には含まれていません。
- ②上糸の端を左手でつまみ、針をぬいはじめの位置にさし、押さえ上げをおろします。
- ③はずみ車を手前にまわして針をあげ、上糸を引いて、下糸を布の上に引き出します。
- ④左手の指先で上糸と下糸を押さええて止めぬいをし、余分な糸を切ります。
- ⑤ししゅう枠を手で下に押し付けるようにし、ゆっくりぬいながら、針が布から抜けている間にししゅう枠を動かして、模様をぬいます。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内（お買い上げ日より1年間です）およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申しつけください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後も、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 - 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - 4) お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
 - 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は
下記にお申しつけください。

蛇の目ミシン工業株式会社

住 所 〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地
電 話 お客様相談室 0120-026-557（フリーダイヤル）
042-661-2600
受 付 平日 9:00～12:00 13:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）
ホームページ <http://www.janome.co.jp>
メールでのお問い合わせ customer@gm.janome.co.jp

仕	様
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	55W（ランプ12V/5W）
外形寸法	幅42cmX奥行17cmX高さ30cm
質 量	8.0kg（本体）
使用針	家庭用 HA X 1
最高ぬい速度	毎分700針

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますので
ご了承ください。

